

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さわやか愛の家かんだ館				公表日	2025年2月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用人数によっては狭いが状況に応じて戸外へ出たり分散して遊べるようにしている、部屋が区切られており目的別に活動ができる	トイレの増築をお願いしたい	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		部屋が分かれている分、それぞれの部屋に一人ずつ配置できる、5人体制なので適切です、問題ありません		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		広々とした部屋、学習する部屋、PC、TVの部屋と別れており適切に配慮されている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		日々当番制で清掃・環境整備を行っている伸び伸びとリラックスできる空間作りをおこなっている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	ドアを閉めて個室にしたり、パーティションで区切りプライベート空間を作っている、周囲を気にせず個室になる		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	PDCAサイクル以外にも、職員間で子どもの様子について、すぐに話し合い、伝え合い共有が出来る	計画・実行・評価するが個々の意識のなかで改善策が必要	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者アンケートをスマホで出来る様にQRコードを配布した、業務改善に繋がっている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		特に機会を設けているわけではないが、意見を伝えることは出来る		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者による外部評価を行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		安全計画に則った研修・訓練、毎月のスキルアップ研修等によりスキルアップに繋がっている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		本来活動していることが書かれており第三者も分かり易い、適切な内容だと思う		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		初回のアセスメントは契約時に行いじっくりと時間を掛け行っている、定期的なモニタリングに加え必要に応じて本人や保護者からアセスメントを取る機にしている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員全員の意見を取り入れ内容に織り込んでいる、計画書は必ず全員で目を通している適切な支援をより追及している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	計画書を確認したり、児発管に相談しながら支援内容を考えている	個人ファイルを職員が何度も読み返し熟知していく	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		定期的なモニタリングに加え日常の様子から見える困り感も考慮して支援内容の都度見直しを行っている、口頭での共有も含む		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		保護者、本児、相談支援事業所担当者、児発管が本児に対してどういった支援を行ったらいいのか吟味した内容で作成している項目別に支援内容を明記している具体的な支援内容が設定されている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		保育士、児童指導員とで行われている翌月の計画を早目に立て準備をしている子ども達の行動も考え話し合っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		活動内容が固定化しないように、1ヶ月を通して様々な活動が出来る様にしている新しい分野の活動も積極的に取り入れている		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		同じ活動内容でも、それぞれの特性に応じて個別、小集団で活動出来るように工夫している、制作活動、体を動かす活動と組み合わせながら行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	前日若しくは当日の朝確認している	足りていない部分もあるので、もっと精査して行く
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		特別時間を設定しているわけではないが、その日の振り返りとして、口頭で伝え合い共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日作成する支援経過記録において職員間で話し合いその都度適切な支援を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6ヶ月に一度児童の振り返りを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		4つの基本活動に加え5領域も考慮した組合せが出来ている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		児童の意見を持ちを聞く体制で、せかさず待ち自己選択、自己決定が出来る様になっている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校の連絡ツールに登録し情報を提供、共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	児童発達支援事業所との情報共有が出来ている	放課後等デイサービスを利用し、その後の報告の共有に努める
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	相談支援事業所を通じ共有出来ている	障害福祉サービス事業所からのその後の様子を共有出来る様に努める
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			社内研修にて外部講師による講座を開催して頂いているが事業所のみ開催となっている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		地域の放課後等デイサービスにおける交流会に参加させて頂いている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		地域の放課後等デイサービスにおける交流会に参加させて頂いている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時、連絡帳、lineと常に意識しコンタクトを取っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			保護者からの相談が無い為現状行っていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	契約時に詳しい説明を行っている	丁寧な説明に心掛ける
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者と子どもの意見を確認しながら進めている、新しい情報、今これが必要というものを取り入れている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者の表情を観察しながら、保護者の立場となり助言を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		本年度はまだ実施されていないが今後計画を立てて行く
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情受付窓口、苦情受付担当者を選任し苦情に対応しているが、苦情が無い	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		ブログ、インスタグラム、SNS等を利用し発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		ブログ、インスタグラム、SNS等を利用し発信している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		日々の連絡帳やlineなどで必要に応じて行っている	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		自治会への報告は行っているが、招待するなどの地域に開かれた運営までは出来ていない
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		安全計画、各委員会に沿って定期的に行うことが出来ている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		安全計画に沿って定期的に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		服薬、てんかん発作時の子どもの様子や発作の頻度で保護者と共有し確認できている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		現状医師からアレルギーの診断を受けている児童はいません	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全管理に沿った研修・訓練が行われている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		児童参加で訓練を行った際は保護者にも報告している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事例に関しては全員で共有しファイリング後見やすい場所に保管している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待・身体拘束禁止委員会を設置し研修、訓練を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		虐待・身体拘束禁止委員会を設置し研修、訓練を行っている、身体拘束を行う場合、保護者に了解をえて行っている	